



次世代に つなげる森林づくり

平成 26 年 10 月 28 日

★「久万林業まつり」で「小型
囲いわな」を展示・紹介！

◆十月十八(土)、十九日(日)、愛媛県久万高原町において「久万林業まつり」が開催され、当センターが開発した「シカ囲いわな」を展示・紹介しました。

この「久万林業まつり」は、今年で第四十四回を数え、多くの出展・催しコーナーがあるなど、規模も大きく例年大勢の方々が来場されています。今年のまつりでは、「ニホンシカ被害防除用資材展示」としてパンフなどで紹介いただき、軽量で組立が簡単な「小型囲いわな改良型」タイプ8を展示しました。出展にあたり、構造や設置方法など説明をしながら組立の実演も行いました。

会場には、大勢の方が来場され興味津々と眺めては質問などをいただきましたが、シカよりイノシシの被害が多い久万高原町では、専ら「イノシシわな」と勘違いされる方が多かったです。被害が間近まで迫っていることから、皆さんの関心も高く、貴重なPRの場とすることが出来ました。



家族連れに説明



市販品の半値です



興味津々の来場者

★民有林と連携したシカ食害軽減
への取組み！
民有林支援として「小型囲いわ
な」の普及に向け、捕獲技術向上
のフォローアップを実施。

◆十月二十一日(火)、四万十町^{ひさはら}松生原・折合^{おれあい}地区において、県、町等の関係者及び地元住民の方々に再度集まっていただき、シカの捕獲技術の向上を図るための検討会を開催しました。前回の七月に、国有林に隣接した民有林内の三箇所に試験的に設置した「小型囲いわな」について、より上手く捕獲できるよう、今回は、誘引の工夫や囲いわなに自動カメラを設置して、シカの行動を把握のうえ捕獲を試みることにし、国有林内で撮影したシカ捕獲の画像を参考に、見ていただきながら皆で話し合いました。その後、シカわなの移動や自動カメラの設置を行いました。

今回の取組みにより、捕獲技術が向上できれば、住民の皆さんの関心も高まるものと思われる。今後のシカ捕獲に期待が高まります。



検討会の様子



パソコン画面で自動カメラ映像を確認

★小学五年生が間伐
の疑似体験！

◆間伐指導に
当センターからベテ
ラン山師も応援。

◆十月七日(火)、佐田町にある香美市総合センターで、森林学習が催され、市立長岡小学校の五年生を対象に間伐指導を行いました。指導員は、山師の指導を受け、伐倒の順序や安全確認など、伐倒の準備や実際の伐倒を行いました。最初は、木の太さや傾きを確認し、伐倒の方向を決め、安全確認を徹底して行いました。伐倒の後は、木の太さや傾きを確認し、伐倒の方向を決め、安全確認を徹底して行いました。伐倒の後は、木の太さや傾きを確認し、伐倒の方向を決め、安全確認を徹底して行いました。



まずは枝打ちから！



伐倒の模範演技！



女子も上手に伐倒！



伐倒方向よし！